

### 1 PLAN(目的・概要)

政策名	国際競争力及び産業競争力の強化と港湾物流の環境変化に対応した港づくり	30年度事業・施策評価結果		責任者	建設部 事業推進課長	
施策名	産業の高度化・新展開・創出と広域物流拠点の形成	成果	コスト			
事務事業名	弥富ふ頭第1貯木場北側埋立整備事業			連絡先	052-654-7921	
目的	対象(誰・何を)	保管施設用地			事業期間	平成30～令和7年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	将来の取扱貨物量の増加に伴う物流用地の需要に対応するため、埋立造成による保管施設用地の確保に取り組み、名古屋港の物流機能を強化します。				
概要	整備場所: 弥富市楠二丁目(弥富ふ頭) 内容規模: コンテナ取扱貨物量の増加に伴う物流用地を確保するため、水面貯木場跡地を埋立て、保管施設用地約17.0haを整備します。 事業費: 約86億円(護岸工事、埋立工事)			根拠法令等	名古屋港湾計画 公有水面埋立法	
令和元年度の実施予定	埋立護岸の地盤改良工事及び護岸工事を行います。			実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
				関連シート		

### 2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	埋立護岸の地盤改良工事及び護岸工事を行いました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	合計	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円		2,264,360	3,201,341	5,465,701	
人件費	千円		-	2,294	2,294	
合計	千円		2,264,360	3,203,635	5,467,995	

### 3 CHECK(検証)

成果目標名		29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
護岸整備延長(m)	目標			546		840	護岸整備延長(m)は、事業費による換算数量です。 (※最終年度は、令和4年度とします)	
	実績		238	546				
(進行管理型)	事業進捗状況(元年度)			順調 やや遅れ・遅れ				
受入土量(%)	目標			9		79	受入土量(%)は、全体受入土量を100とした受入土量の割合です。	
	実績		0	7				
(進行管理型)	事業進捗状況(元年度)			順調・やや遅れ・遅れ				
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	受入土量は目標値を下回るものの、工事は予定通り進んでおり、令和7年度の事業完了に向け順調に進捗しています。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○	港湾施設用地や港勢の発展に資する企業の進出用地を確保する必要性は高いと考えております。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	○	物流用地を確保することで、上位施策である「産業の高度化・新展開・創出と広域物流拠点の形成」に貢献すると考えております。					
	期待どおりの成果が得られているか?	○	本事業の進捗状況としては、順調に進んでおります。					
効率性	最小のコストとなっているか?	○	コストが最小となるよう精査して事業を進めています。					

### 4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	物流用地の確保に向けて、着実に事業を進めていく必要があるため。
取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。			
課題			2年度以降の取組
令和7年度の完了に向けて、受入土砂の調整を行いながら、事業進捗を図っていく必要があります。			護岸工事や埋立工事を行い、着実に事業を進めていきます。